

満足と達成感!ファシリテーター養成講座

全3回

“安心して話し合える場”を生み出す

R7.9.8(月)：浜田合同庁舎

第2回 学習プログラム設計のポイント

【講義】社会教育におけるファシリテーター②

アイスブレイク

ペーパータワー

- ・A4コピー用紙だけを使い高いタワーをつくる。



どんな折り方が
良いかな？

どうしたら？高くなるかな？

※グループでアイデアを出し合い
協力してタワーを完成させる。

自然と役割分担が
できています！

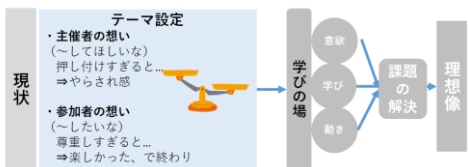
ペーパータワーの体験をとおして…
・グループ内のコミュニケーションが
深まり話しやすくなる。
・緊張がほぐれ、柔軟な発想が生ま
れる。



応用5ファイブ「ファシリテート力を高める応用知識・応用技能5選

その1 テーマと手法を整理しましょう

☑おしつづけ、さりげなく、気づいたらその気になっていた、
を目指す



設計

☑ねらいやテーマに応じて手法を選ぶ

設計

代表的な手法

ラベルワーク・カードワーク・リフレーミング
ブレインストーミング・フリップディスカッション
ワールドカフェ・ランキング・ピクチャーワーク
エピソード

その2 問いをデザインしましょう

☑「問い」が学びのエネルギー源 吟味しましょう
・問いかけ一つで参加者の意識が変わってくる
・タイミングやシチュエーション

設計

その3 具体的な姿をイメージしましょう

☑困難を想定して、工夫や作戦を考えておく
⇒すべての人の学びを保障する

設計

予想される姿

学びの場での工夫

その5 学びを行動につなぎましょう

☑主体性を引き出し、「動き」を促す視点を忘れない

設計

スキル

可視化（ホワイトボード、議事録）・宣言・事後広報・SNSの活用・現地体験

スキル

その4

指示・説明を工夫しましょう

☑分かりやすい指示・説明で不要なストレスを軽減

- 1 ゴールを示す
- 2 数値を示す
- 3 手順を区切る
- 4 具体例を示す
- 5 スピードや間を使いこなす
- 6 視覚情報を活用する
- 7 重要点を繰り返し強調
- 8 理解度を確認、質問タイム
- 9 短くはっきり
- 10 脱「やらされ感」

【演習】プログラム作成

情報交換

・サポートBOOK「プログラムの構想をたててみましょう」を
もとにグループ内で情報交換

- 誰を対象に？どんなテーマで？
- 誰にどうなってほしい？
- 使えそうな手法は？



1人3分で
紹介



PCでプログラム作成する

・学習プログラムを理解し
作成手順に沿って進行表
を作成。



・ねらいの設定は？ 時間配分は？
どうだったかな？



研修協力者やグループ内で困りごと等を
相談し助言をしてもらいながら進める。

【演習】ミニリハーサル（中心のワークのみ）



内容：多世代交流の場のアイデアを
出し合う



内容：地域交流跡地をにぎわいの再創出に
つなげるアイデアを出し合う



内容：自分たちがこの町で、やってみた企画に
ついて考える



内容：自治会、まちづくり組織の再編につ
いて、どう検討したらいいか考える



内容：選挙に抱くイメージや選挙に行く
メリットについて意見を出し合う

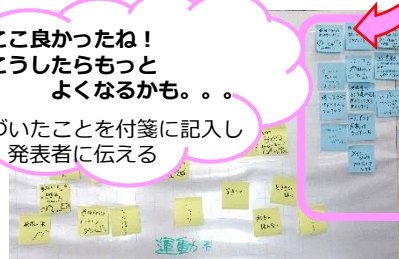


内容：地域猫がいることで、町に与える影響や課題に
気づき、よりよいまちづくりについて考える

リハーサルのふり回り



ここ良かったね！
こうしたらもっと
よくなるかも。。。
気づいたことを付箋に記入し
発表者に伝える



【演習】チェックリデザイン

サポートBOOKへ記入

リハーサルで気づいたことを
学習プログラムに反映させる。

プログラムの
加筆・修正

※みなさんに書いてもらい、リハーサルのふり回りや
アドバイスも取り入れる

思っているのとやってみるのでは全然ちがった

時間配分を見直そう

ワーク中の問い
かけ方は良かった

ワークにつなげるアイス
ブレイクを決めよう

【ふり回り】第3回目への意気込み

とにかく楽しい会に
できるよう頑張って
準備します

正解はない！
笑顔で駆け抜けます

楽しむ!!

そこへ辿り着く道は
1本じゃない
回り道でも最後まで
足掻け



研修協力者からのエール

- ・KDB（きっとだいじょうぶ）
- ・何はともあれチャレンジ！
- ・終わった時の参加者の“声”“表情”“聞きたい・見たいワード”
をイメージして
- ・自分らしさとしかけ・工夫
- ・想い熱意が伝わりました。
大丈夫!!

あわてず急いで準備
できるようになる

失敗も経験!!

【アンケートから】

- ・「問いのデザイン」という話がすごく参考になりました。時間の感覚などがよく分からなかったのでリハーサルをやれてよかったです！
- ・シンキングタイム、意見交換など、こちらが設定した時間で足りるか足りないか感覚が掴みにくいので、これが「場数がものを言う」というものなのかもしれない…と思った。
- ・リハーサルをしたことにより、言い回しなどリアルで感じられた。課題も見つかってよかった。きちんとできるか不安はありますが、がんばります。
- ・実践あるのみ。プログラムを分からないまま計画して発表してみたら、どこか何か足りず…ということがわかりました。同グループの方のコメントなども参考になり「見えてない」ところにも気づけた。